

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	あきらめない気持ち	事務局	102
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	秋葉 <small>れい。</small> 玲花

私は、絵を描くことが好き。ずっと描いていたい。そして、たくさんの人達に喜んでもらいたい。それが、小さな頃から思っていたことだった。

「新中ハローワーク」いわゆる職場体験に向けて、ずらずらとたくさんの求人票が教室の壁に貼られてゆく。それを見た私は、たくさんありすぎてすぐには決めることができなかった。妹が通っている保育所か、共栄印刷という印刷を主にしているデザイン系の仕事か、この二つで迷っていた。だが、やっぱり私が好きなことをできるデザイン系を体験したいという気持ちの方が強かったので共栄印刷にした。

大好きなことの仕事を体験できるなんてめったにないし、いつも年に一度の新庄祭りを彩るポスターを作っている会社であること。それだけですごく心が踊った。でも、自分が行きたい職場に行くにはエントリーシートを書き、面接に合格しなければ行くことができない。面接ということをしたことがない私は、どうやったらいいのか全く分からず、すごく焦った。学校でも家でもたくさん練習した。そして、いざ行ってみると面接官の方がすごく優しくて安心した。まず、自分が好きなことや好きなもの、自分の強みを語るということはすごく楽しく、緊張の方が勝っていたが、自然と笑顔になった。そして面接を体験したことで分かったことがある。それは、面接の大切さや重要さを感じることができたということだ。高校受験の時や、大人になってから就職したい仕事を見つけた時などに、今回のように面接をすると思う。その時に、今回の面接体験がきっと役立つと思っている。とても良い経験になった。

面接の次の日、無事面接に受かっていたことを先生から伝えられた。ほっとした。不安でいっぱいだった私の心は、ちょっとずつ楽しみという気持ちでいっぱいになった。

待ちに待った仕事体験日当日、楽しみなはずなのに、たくさんの不安や緊張に襲われすごく胸が痛かった。だが、いざ行ってみると職場の方々全員優しくとても良い方で、ちょっとずつ緊張が和らいでいった。職場にきて思ったのが、一個一個のパソコンがすごく大きいサイズだということだ。そのような大きいサイズのを身近ではあまり見ないのでびっくりした。それだけではない。私の大好きな新庄祭りの歴代のポスターがずらりと貼ってあったことも驚きだった。まだ見たことがない年のものもあり、思わず「すごい」という声が出た。それらのものを見ただけでとてもワクワクした。ここで一日体験できることがすごく嬉しかった。

まず、印刷やデザインについての話を聞いた。印刷をする仕組みを詳しく聞き、印刷の流れなどを分かりやすく教えていただいた。そして、他の方から写真の切り抜きについての話も聞いた。いつも見ているポスターなどの画像やイラストは、配置や角度、色の明るさをちょっとずつ調整したりして、たくさんの方に喜んでもらうために手間をかけていた。その次は印刷機の説明だ。実際に見てみるとすごく大きく、これで印刷を行っているのだと思うとびっくりした。体験することはその後のことだった。印刷されたものにゴミや汚れがついていないかを確認する作業だ。そして、私は印刷機を使用して作成した印刷物をルーペのようなものでよく見てみると、小さな点がたくさん集合していたことに驚きを隠せなかった。「これは、網点というものです。」と職場の方から教えて頂いた。いつも何気なく見ている印刷物は細かい表現で構成されていることに気づき、新しい発見・知識となった。また、細かく見ていくのはちょっと大変だったけれど、この印刷物を見て笑顔になってくれる人がいる。そのことを考えると嬉しくなり、自然と頑張ろうという気持ちが生まれる。これは、仕事をしているから得られる喜びや楽しさがたくさんつまっていることに気づいた。いつも手元に届いている市報などの印刷物は、手間や時間をかけて作成していることが分かり、印刷物への見方が大きく変化したのだった。

実際に体験してみて思ったことがある。それは、職場の方々は、私たちの地域やたくさんの方々のために、少しでも地域に貢献するために、それぞれ自分ができることを一生懸命に行っていて、すごくカッコいいということだ。ポスターの写真を細かく調整しながら作成し、手間や時間をかけ印刷物を作成する。それは私を含め、たくさんの人々を喜ばせ笑顔にしている。すごくカッコよかった。

長いと思っていた一日は気づけば終わっていた。あっという間に時間が流れた感じがした。体験するのが楽しかったからだろう。思っていたのと少しかけ離れていたこともあったけれど、すごく面白くて素敵なことをたくさん学ぶことができた。仕事をするこの意味、印刷物の素晴らしさ、仕事でしか得られない喜びや楽しさ。きっとこの学びは、将来やこれからの人生を輝かせてくれるものだと思っている。

私は、絵を描くことが好き。だが、何も見ないで描こうとするとなぜか変になってしまう。絵を描くことを辞めようと思うことは今まで絶対になかったが、才能がないのかと自分を疑ってしまうことがあった。だが、職場の方がおっしゃっていた。「自分が興味を持っていることなら大丈夫。」と。その言葉を聞いた私は、才能が「ある」や「ない」は関係ない。きっと大丈夫だという気持ちに変わった。そしてとても強い勇気もらった。やりたいという思いが一番大事だということに気づくことができた。だから大好きなことや自分が興味を持ち、やってみたいと思ったことには失敗しても大丈夫だと思いながら、まずはやっていきたいと思っている。

まだどの仕事に就くかははっきり決まったわけではないが、今は将来デザインの系の仕事に就きたいと思っている。これから今とは別にやりたいことを見つけるかもしれない。興味を持つことがあるかもしれない。将来のことはまだわからないこともある。だから、まずはちょっとでもみんなのためになるように自分ができることを探してやりたいと思っている。いつも見ているポスターなどは共栄印刷の方々だけではなく、たくさんの人々が新庄をよくするために頑張っている。そのように私も将来、たくさんの方に喜んでほしい。たくさんの方を笑顔にできたらすごく嬉しい。なぜなら誰かが喜ぶということは自分の喜びに変わるということを、今回、仕事体験に行き分かったからだ。私が描いた絵を友達や先生に渡した時に喜んでくれたことがすごく印象に残っている。それは自分の喜びに変わっていたということに気づいた。どんなに泣いたって大丈夫。どんなに失敗したって大丈夫。好きなことを頑張ることに、おしまいはないはずだ。これからは今回学んだあきらめない気持ちを大切に生きていきたいと思う。